

# Eaton BladeUPS

12kW-60kW

## 常時インバーター方式 無停電電源装置

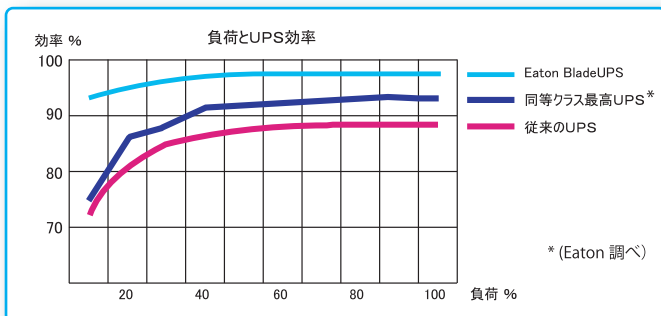


### ■ 特徴

- ・ サーバルーム用に設計された BladeUPS
- ・ 高効率 12kW を、バッテリーを内蔵しわずか6U (高さ) で標準ラックスペースに搭載
- ・ 12kW モジュールの構成単位の組み合わせによる容量の拡大や冗長構成が可能
- ・ ラックには最大 60kW (N+1) 冗長構成が可能
- ・ 放熱は従来機比較で約 1/3 に抑えることが可能
- ・ 拡張バッテリーモジュール (EBM) によって、全負荷で最大 76 分までバックアップタイムを延ばすことが可能 (次ページ参照)
- ・ プラグ&パワー接続およびホットスワップ可能なバッテリーとエレクトロニクスモジュールによって、設置と保守を簡素化

### ○ 高効率システムによるエネルギーコストの削減

BladeUPS は通常動作時において業界をリードする 98% の優れた効率を提供通常は効率が下がる 50% 未満の負荷時にも BladeUPS は全負荷時の他社のモジュラー製品より優れた効率を発揮  
大幅なコスト削減だけでなく、システムの高効率によってバッテリーの実行時間を延ばし、コンポーネントの寿命延長、総合的 TCO 削減を実現



### システム拡張 (スケーラブル例)

BladeUPS 1台 12kW の電源 6U (高さ)  
BladeUPS 3台 36kW の電源 システム  
BladeUPS 6台 60kW の電源システム N+1 の冗長構成



12kW



36kW



60kW N+1

6 台の BladeUPS で負荷を均等に共有

UPS モジュール構成で一台が故障した場合でもシステム全体が停止することなく、他のモジュールがシームレスに負荷をサポート

\* 6U 分の電気配線ユニット

### ○ モジュラー構成により、将来条件が変わっても対応が可能

BladeUPS システムは初期設置の後でも容易に拡張することが可能  
データセンターの拡大に伴い、システムのモジュラー性が予算計画とその展開に主要な役割を果たします。世界的に実績のある Powerware Hot Sync 並列化技術で、最大 6 台の BladeUPS モジュールを並列化して冗長構成 (n+1、N+2 など) や、19 インチラック一台で 60kW の大容量の電力保護が可能冗長構成のシステムにおいては、保護制御された負荷へダウンタイムなしに、どのモジュールに対しても完全なメンテナンスを行うことが可能

### ○ バスバー (Bus Bar) 構造



シンプルな並列構成でセットアップが容易  
設置、設定、展開、初期設置後の拡張も可能  
複数の BladeUPS モジュールを並列構成接続する場合も、インテリジェントなシステムのため、モジュールは自動的に並列認識し、完全かつ簡単に並列動作が可能

Eaton BladeUPS Parallel Bar (バスバー)

BladeUPS ラック背面

### グリーンパワーパフォーマンス



省エネUPS

BladeUPS は 94% を上回る効率で動作するため、電力コストを削減し、バッテリーの実行時間を延ばします。

設備の冷却コストの削減、コンポーネントの寿命延長、省スペースなど総合的な信頼性、汎用性、およびパフォーマンスの拡大につながります。

## ■ オプション機器

### ラック (BladeUPS 専用)



ラック寸法 (HxWxD mm)	
2064 x 647 x 1067	
ラック +UPS	重量 kg
12kW (N+1)	463
24kW (N+1)	604
36kW (N+1)	745
48kW (N+1)	886
60kW (N+1)	1027

### ○ シンプルな UPS の設置と保守

お客様ご自身で、このUPSの設置および保守が可能  
将来の拡張に備えて並列ユニットを追加は簡単なプラグ&プレイ  
操作で行うことができます。BladeUPSのバッテリートレイは容易  
に交換が可能のため、データセンターの運用や保護装置への電力  
を停止させることなくバッテリーの交換が可能です。



簡単なエレクトロニクスモジュールの設置

### 拡張バッテリーモジュール

BladeUPS 1 モジュールに対し最大 4 台の 3U サイズ  
拡張バッテリーモジュールを追加することが可能



バックアップ時間を  
下の表のように大幅  
に伸ばすことが可能

### 環境モニタリングプロローブ



UPS 環境の周囲温度や相対湿度  
などをリモートでモニタリング  
します。煙検知器やドアオープン  
センサーなど 2 つの接点デバイ  
スのステータスを提供するように  
設定することもできます。

### ネットワーク管理カード



標準のオンボード Web ページ、  
Power Xpert またはサードパー  
ティソフトウェアによって UPS、  
PDU、RPP の Web 対応のリアル  
タイムモニタリングが可能

### リレーインターフェースカード



RS-232C シリアルおよび  
AS/400 インターフェース  
経由で UPS をモニタリング  
管理が可能

### MODバスカード



ビル 設備管理 システム  
(BMS) または産業オート  
メーションシステム (IAS)  
によって UPS を連続的に  
リアルタイムでモニター  
することが可能

### ラック電力モジュール



Eatonのラック電力モジュール(RPM)とBladeUPSを併用することによって、  
極めて柔軟性の高い、適応能力のある電力配電アーキテクチャ構築が可能  
RPMによって、最大36 kWまでの電力を様々な電圧、電源コードおよび  
レイアウトの負荷に組織的に配電することが可能 BladeUPSの3相出力  
(4W 208V)を単相(120V / 208V)に変換 3U RPMは、UPSおよびIT機器と同  
じラックに設置ができ、しかも専用のラックは不要 によって、管理対象の  
ケーブルがより少なくて済み、監視対象となる配電ポイントも少なくなり、  
電気の専門家や有資格者がいなくてもIT技術者で変更処理ができる柔軟性

## ■ 主な仕様

一般特性	電力定格 効率 放熱 可聴ノイズ 標高	UPS モジュールあたり 12kW 最大98 % 371W/1266BTU/hr (100% 定格負荷時) < 60 dBA (1m地点) 1000m (以上の高度では容量値が下回ります)
入力特性	入力電圧 電圧範囲 周波数範囲 入力電流歪率 入力力率 入力条件	208Vac 208V モデル: 180~265Vac 50/60Hz、±5Hz < 5%、IT負荷時 (RFC電源) > 0.99、IT負荷時 (PFC電源) 3相、4線+接地
出力特性	定格出力電圧 出力構成 出力周波数(公称値) 周波数レギュレーション 全出力電圧歪率	208Vモデル: 180~225Vac、Ph-Ph 三相 4線+接地 50/60Hz自動検出、起動時 0.1 Hzフリーラン < 3%、IT負荷時 (RFC電源) < 5%、非線形または非RFC電源
寸法	外形寸法 H x W x D mm	UPS: 261 (6U) x 441 x 660 (最大突起含まず) EBM: 132 (3U) x 438 x 660
重量	UPSの全重量 (バッテリーを含む) UPSの全重量 (バッテリーを除く) EBMの重量	141 kg 61 kg 77 kg

バッテリー バックアップ時間	バッテリータイプ: VRLA											
	バックアップ時間 (全負荷時)											
	システム 構成	容量 kW	UPS 台数	内蔵 バッテリー 分	+1 EBM/UPS 分	EBM数	+2 EBM/UPS 分	EBM数	+3 EBM/UPS 分	EBM数	+4 EBM/UPS 分	EBM数
Single	12	1	5	9	1	17	2	27	3	34	4	
N+1	12	2	13	27	2	41	4	59	6	76	8	
N+1	24	3	9	17	3	28	6	43	9	55	12	
N+1	36	4	7	15	4	24	8	37	12	47	16	
N+1	48	5	7	13	5	23	10	35	15	44	20	
N+1	60	6	6	12	6	21	12	33	18	42	24	
バックアップ時間はバッテリーの使用環境(温度、経過時間、充放電数など)によって変わります、 この表のバックアップ時間は保証するものではありません。 充電プロファイル ABM 3段階充電方式 Advanced Battery Management												
認証	安全性	208Vモデル: UL1778、cUL										
	EMI	208Vモデル: FCC Part 15 Class A										
ソフトウェア	サージ保護	ANSI C62.41、Cat B-3										
	危険物質(RoHS)	EU指令 2002/95/EC カテゴリー 3 (4/5)										
Intelligent Power Manager(IPM)、Intelligent Power Protector (IPP)などUPSの監視、リモート制御を行う ことができるソフトウェアのCD-ROMが付属しています。 最新バージョンはEatonのWEBからダウンロードすることが できます。												
  IPM  IPP												

日本の三相電源の仕様と UPS 仕様の整合をとるために、入力トランスが必要になる場合があります。 BladeUPS、Powerware Hot Sync は Eaton の登録商標です。  
記載事項は改良のため予告なく変更することがあります。ロゴ「Eaton」は米国 Eaton Corporation、「Daitron」はダイترون株式会社の商標です。文中記載の会社名、製品名はそれぞれの商号、商標もしくは登録商標です。

## ダイترون株式会社

<http://www.daitron.co.jp/>

営業本部: 〒102-8730 東京都千代田区麹町 3-6 住友不動産麹町ビル 3 号館  
本社: 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 4-6-11  
お問合せ: [eaton@daitron.co.jp](mailto:eaton@daitron.co.jp) 製品情報: [www.eaton-daitron.jp/](http://www.eaton-daitron.jp/)